

祝 辞 於 ワシントンホテル

平成30年度いわき地区高等学校PTA連合会総会の開催、誠におめでとうございます。

各校では4月末からPTA総会が開催され、本年度の本格的な活動を開始されておられると存じますが、とりわけ、本日出席の各校のPTA役員の皆様方には、日頃より各学校の教育活動へのご理解とご支援を賜っておりますこと、心より感謝申し上げます。

本年度も早くも1ヶ月半を経過しますが、新入生のお子様も、高校生活のリズムにもだいぶ慣れてきたところかと思えます。

また、福島県高等学校体育大会の地区大会が終了し県大会が始まる時期となりましたが、上級生のお子様は、部活動などさまざまな場面で、生徒集団の中核として成長し、さらには就職または進学と、それぞれの進路希望の実現を目指して、学業に励んでいることと思えます。

さて、すでにご存じの通り、人口減少時代の到来と、高度情報化や経済のグローバル化の一層の進展に伴う大きな変化が、大都市部でも地方でも起こっているところであり、先の見通しが立ちにくい時代になっています。

その上本県では、とりわけ浜通り地区では、東日本大震災と原子力発電所事故による影響を受け、復興に向けた様々な課題解決が迫られ、各学校においてもイノベーション・コースト構想に関わる新しい取り組みへの対応を迫られているところでもあります。

また、子どもを取り巻く日々の生活環境も地域や家族構成の変化、情報端末の普及とSNSの使用に伴う情報環境の変化、並びにSNS使用におけるリスクマネジメント対応などさまざまな影響を受けているところでもあります。

このような将来が見えにくい時代の状況の中でも、一人一人の子どもを、心豊かにたくましく成長させていくことが、本県教育の課題であり、保護者の方々や教職員はもちろんのこと、全ての大人の願いでもあります。

このため、各学校では、教職員が生徒の進路希望の実現はもとより、心身の健康の保持増進などに努めておりますが、このことは単に学校だけでできるものではなく、保護者や地域の皆さんとの連携・協力が必要であることはいまでもありません。

学校・家庭・地域が互いに信頼関係を築きながら、それぞれの役割と責任を担い、子どもたちの教育にあたることが今後も大切であり、PTA活動については、家庭教育充実への推進役として、また、家庭と学校、そして地域とを繋ぐ架け橋として、ますます重要になってきております。

そのような中、本日ここに開催されるいわき地区高等学校PTA連合会総会は、本年度の本会の方針や活動内容を決定する重要な場ではありますが、ご出席の皆様のご熱心なるご協議をご期待申し上げる次第であります。

結びになりますが、この総会開催にあたりご尽力いただきました当地区高P連事務局であるいわき光洋高等学校PTAの皆様に、心より感謝申し上げ、そして、いわき地区高等学校PTA連合会の益々のご発展をご祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

本日は誠におめでとうございます。